

第6次宇都宮市総合計画

基本計画

第1章 策定の趣旨	頁
第2章 計画の構成と期間	頁
第3章 計画のフレーム	
○ 人口の見通し	頁
○ 経済の見通し	頁
○ 土地利用の見通し	頁
○ 財政の見通し	頁
第4章 都市空間形成の方針	頁
今回、例示として記載している部分	
第5章 好循環創出プロジェクト	3頁
第6章 分野別計画	7頁
○ 戦略事業	
○ 施策・事業	
第7章 計画の着実な推進に向けて	頁

好循環創出プロジェクト

第6次総合計画基本構想で定める「まちづくりの基本方向」における「まちづくりの好循環」の具現化を図り、「将来のうつのみや像（都市像）」の実現を目指し、特に効果が高い先導的な取組や複数の分野の連携が不可欠な横断的な取組、他の分野への波及効果が高い取組などを「好循環創出プロジェクト」としてまとめています。

Project. ①

輝く人の環「地域共生」プロジェクト

Project. ②

つながるまちの輪「LRTでまちが変わる」プロジェクト

Project. ③

活力あふれる「ICT利活用」プロジェクト

Project. ④

うつのみや「地域の魅力創造・発信」プロジェクト

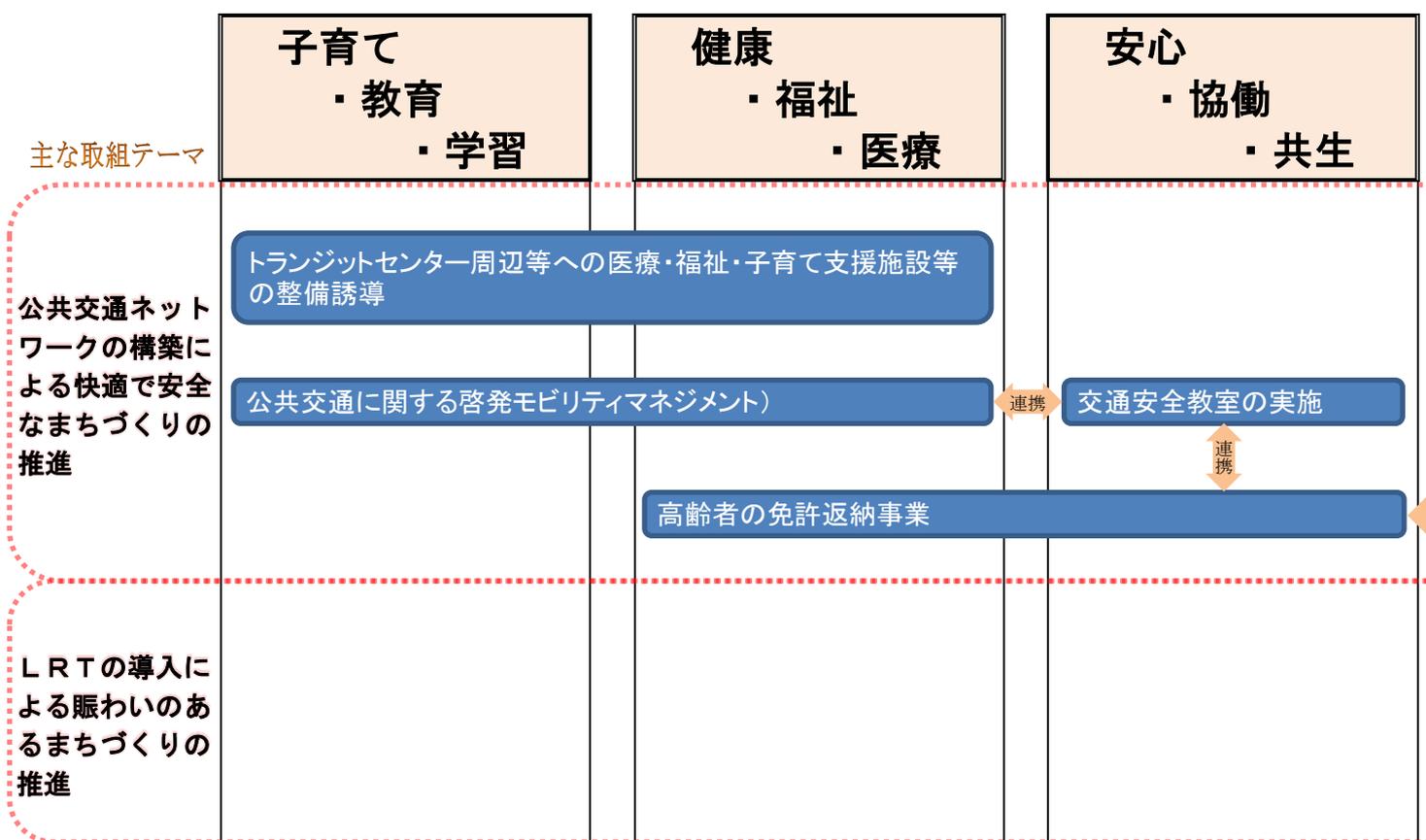
第5章 好循環創出プロジェクト

Project. ②

つながるまちの輪「LRTでまちが変わる」プロジェクト

理 念	
背 景	

分野別計画

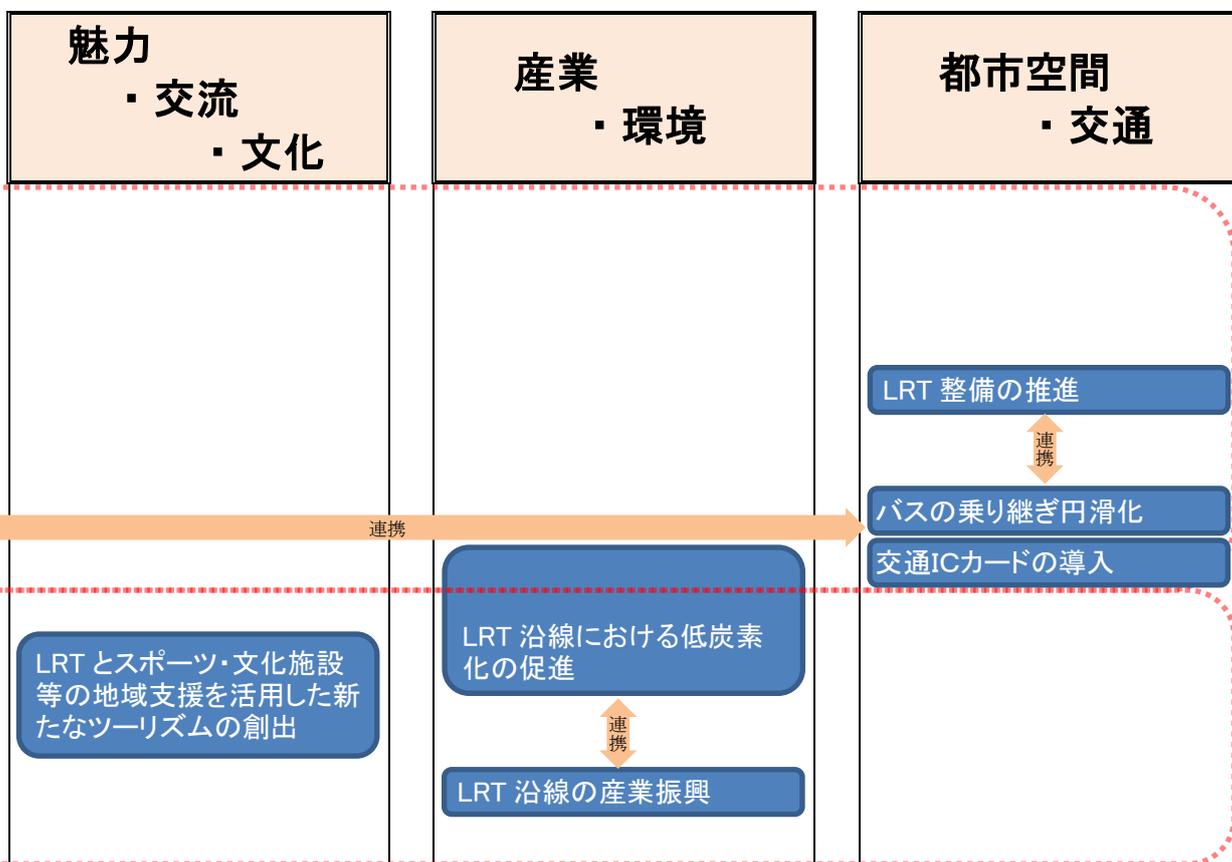


第5章 好循環創出プロジェクト

※イメージ

【現状・潮流に関するデータ】

（ 政策 分 野 ）



分野別計画

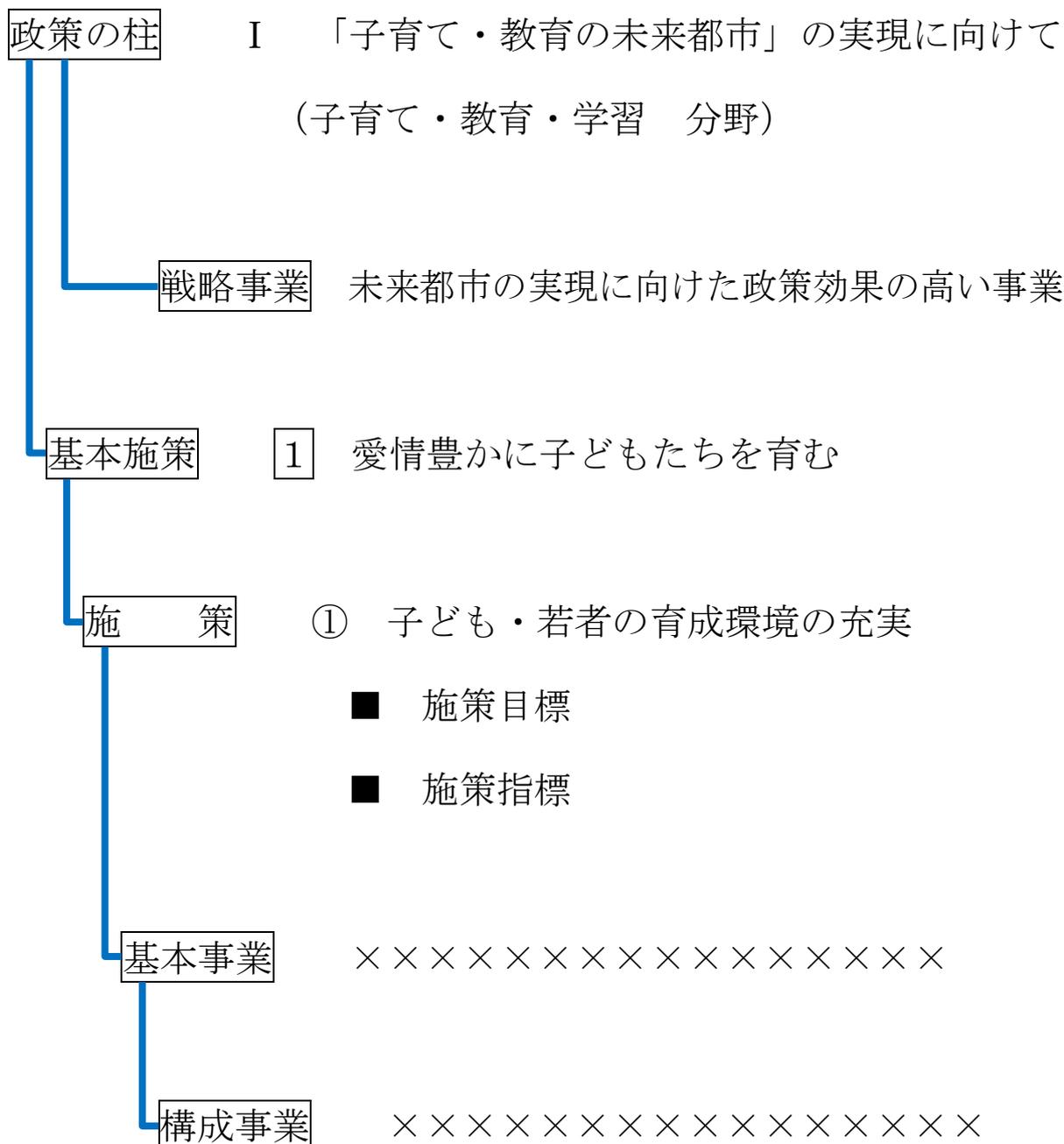
第6次宇都宮市総合計画基本構想では、将来のうつのみや（都市像）を達成するための基本目標として、6つの「未来都市」の実現を掲げており、その実現に向けた「まちづくりの基本方向」を定めています。

分野別計画は、「まちづくりの基本方向」を受けて、6つの「政策の柱」ごとに施策・事業を重点化・体系化しています。

- I 「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて
(子育て・教育・学習 分野)
- II 「健康・福祉の未来都市」の実現に向けて
(健康・福祉・医療 分野)
- III 「安全・安心の未来都市」の実現に向けて
(安心・協働・共生 分野)
- IV 「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて
(魅力・交流・文化 分野)
- V 「産業・環境の未来都市」の実現に向けて
(産業・環境 分野)
- VI 「交通の未来都市」の実現に向けて
(都市空間・交通 分野)

第6章 分野別計画

分野別計画体系（イメージ）



「子育て・教育の未来都市」の 実現に向けて

(子育て・教育・学習 分野)

- 基本施策① すべての子ども・若者を健やかに育成する
- 基本施策② 確かな自信と志を育む学校教育を推進する
- 基本施策③ 生涯にわたる学習活動を促進する
- 基本施策④ 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しむ社会を実現する

第6章 分野別計画

政策の柱

子育て・教育・学習

～「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて～

概ね10年後のあるべき姿

- 結婚、妊娠、出産、子育ての支援が充実し、市民の希望がかなえられる環境が整備されている。
- 保育サービスが充実し、市民の子育てと仕事の両立ができる社会が構築されている。
- 社会的援助を必要とする家庭への支援体制が整備され、生活が安定し子どもが健全に成長できる環境が整えられている。
- 小中一貫教育・地域学校園の取組が充実し、知・徳・体のバランスの取れた資質・能力や未来を生き抜く力を育成する教育が展開されている。
- 適切な施設整備等により、子どもたちが安心して快適に学習できる教育環境が整備されている。
- 学校・家庭・地域が互いに連携・協働し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組む環境が整っている。
- 市民がスポーツ活動への興味・関心を持ち、ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進に取り組んでいる。



実現に向けた課題の総括

- 本格的な人口減少局面への対応として、少子化の流れを変えるため、結婚や家庭、子どもを持つことに夢を持ち、市民のこうした結婚、妊娠、出産、子育ての希望が叶えられる取組が必要
- 子ども・子育て支援施策を推進し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実・強化が必要
- 子どもの貧困など、顕在化する社会的問題への対応が必要
- 変化の激しいこれからの社会を生き抜く力を児童生徒に育成するための取組や体制の整備が必要
- 児童数に応じた学校整備や老朽化対策など、教育環境の充実に取り組むことが必要
- 学校・家庭・地域の連携・協働体制の強化や、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりが必要
- 東京オリンピックや栃木国体などの機運も生かし、スポーツへの興味・関心の高揚や、様々なスポーツ活動の場の創出に取り組むことが必要

戦略事業

課題の解決に向けた戦略的な取組を選定

事業名称	取組のねらい・概要
○産前・産後サポート体制の充実	出産や子育てに関する悩みの相談や精神的なサポートなどが受けられるよう体制の充実・強化を図る。
○子育てと仕事の両立支援の充実	保育所や認定こども園など、保育機能の充実を図るとともに、様々な保育ニーズに対応するため、保育サービスの充実を図る。
○子どもの貧困対策の推進	本市における実態の把握に努め、必要な支援を行い、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、総合的に推進する。
○テクノポリスセンター地区新設小学校の整備	テクノポリスセンター地区内の急激な人口増加に伴い、既存の小学校において教室不足や過大規模校となる見込みであるため、新たな小学校を分離新設する。
○グローバル化、情報化社会の進展に対応できる教育の推進	グローバル化、情報化する社会に対応するため、英語教育を強化するとともに、郷土愛の醸成を図る教育やプログラミング教育などを推進する。
○家庭の教育力の向上	家庭教育を支援する人材の育成や関係部局との連携体制の強化により、家庭教育支援の更なる充実を図る。
○効果的・効率的なスポーツ施設等の整備 ・北西部地域への体育施設整備 ・宮原運動公園の再整備	少子高齢化の進行や平均寿命と健康寿命の乖離など社会環境が変化する中、市民の生涯スポーツを支える良好な環境を整えるため、施設の配置適正化を図るとともに、施設の老朽化やスポーツニーズの多様化に対応した機能向上を推進する。
○ビッグスポーツイベントの開催を捉えたスポーツ人口の拡大 ・第77国民体育大会協議会（いちご一会とちぎ国体） ・東京オリンピック・パラリンピック ・プロスポーツチームの支援	第77国民体育大会協議会（いちご一会とちぎ国体）の成功に向け、本市としての役割に基づき、計画的に準備を進めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催、本市を拠点とするプロスポーツチームの活動などと合わせ、トップレベルのスポーツの観戦やトップレベルの競技者から学ぶ機会を充実する。

第6章 分野別計画

基本施策1

すべての子ども・若者を健やかに育成する

現状・課題	<p>少子化が進行する中、核家族化やひとり親家庭の増加、地域社会の関係の希薄化などにより、家庭・地域の養育力が低下しています。さらに、貧困、児童虐待、いじめ、不登校、ニート等の問題が相互に影響し、子ども・若者の抱える問題が複雑化・多様化しており、子育て・子育ての環境が厳しさを増しています。</p> <p>こうした中、すべての市民が安心して子どもを生み育て、また、すべての子ども・若者が将来に夢や希望を持ち、その希望を実現できるよう、家庭、地域、事業者、行政等が連携し、地域社会が一体となって、子育て・子育ての環境を充実することが重要になっています。</p>
基本施策目標	<p>すべての市民が愛情を持って安心して子どもを生み育てることができ、子ども・若者が、心身ともに健やかに成長するための支援が提供されており地域社会の一員として充実した生活を送ることができる環境が整っています。</p>
構成施策	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども・若者の健全育成環境の充実 ②子どもを守り育てる支援の充実 ③結婚につながる支援の拡充 ④安心して妊娠・出産できる環境の充実 ⑤子育て支援の充実

【基本施策指標】

項目	現状値	目標値
宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合	67.53%	73%
地域などでの社会的な活動に取り組んでいる青年(20・30代)の割合	21.26%	30%

○ 施策の体系

- 基本事業
 - ・ 主な構成事業

① 子ども・若者の健全育成環境の充実

■ 施策目標

すべての子ども・若者が、自主的・主体的に活動でき、地域の中で心身ともに健やかに育つことができる環境が整っています。

■ 施策指標

産出	青少年の総合相談件数			
	現状値 (H29)	21.26%	目標値 (H34)	30%
成果	自立に向けて環境が改善された青年の割合			
	現状値 (H29)	983 件	目標値 (H34)	1,800 件

- (1) 子ども・若者が自主的に活動できる環境づくりの推進
 - ・ 青少年の居場所づくり事業の推進
 - ...
- (2) 子どもの育ちと若者の自立を支援する環境の充実
 - ・ ふれあいのある家庭づくり事業の推進
 - ...

② 子どもを守り育てる支援の充実

■ 施策目標

地域社会で見守られながら、子どもたちが夢や希望を持って安心して暮らすことができる環境が整っています。

■ 施策指標

産出	地域で子育てを支援する人の数 (ファミリーサポートセンター協力会員数, 民生委員・主任児童委員数, 里親登録者数等)			
	現状値 (H29)	35.3%	目標値 (H34)	50%
成果	困難を抱える児童のうち、養育環境が改善された児童の割合			
	現状値 (H29)	1,548 人	目標値 (H34)	2,000 人

- (1) 子どもの貧困対策の充実
 - ・ ひとり親家庭の自立に向けた就労支援の充実
 - ...
- (2) 健全な養育環境づくり
 - ・ 子育ての不安や過重な負担の軽減
 - ...
- (3) 個別配慮の必要な児童への支援の充実
 - ・ 発達障がいの早期発見・早期支援
 - ...